

第2期総合戦略数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧

資料 4

基本目標	数値目標	重要業績評価指標 (KPI)名称	令和3年度 ①関連事業実施状況・②課題・③今後の方策等	基準値 (令和元年度)	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	目標値 (令和6年度)	進捗状況	解説・算出方法等	指標の担当課
	具体的な施策									
1-1 安定した雇用の創出	新規求人数	-	①なし ②景気の減速に伴い減少の可能性がある。 ③ハローワークとの情報共有及び連携を図っていく。	1,563件	1,208件	1,320件	1,602件	概ね順調に進捗	ハローワーク伊勢崎管内で新たに受付けた求人申込みの月平均件数 ※新規学卒者を除きパートタイムを含む	商工労働課
	①地域産業の活性化、付加価値の向上	製造品出荷額等	①首都圏で開催される展示会への共同出展事業による販路拡大の促進や国の交付金を活用したMade in いせさき製品への購入補助等を実施した。 ②新たな取引先を確保し、安定した取引や出荷額の増加につなげる必要がある。 ③市内の企業を主な対象としたマッチングイベントを開催し、新たな販路拡大の支援を行う。	11,942億円 (平成30年)	11,789億円 (令和元年)	令和4年9月 公表予定	12,500億円 (令和4年)	概ね順調に進捗	製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額の合計(工業統計調査)	企業誘致課
		新技術・新製品等の開発数	①ぐんまDX技術革新補助金について、DX推進・地域課題解決タイプが2件、市町村・県連携タイプが1件の利用実績があった。 ②コロナ禍の影響に加え、事業名のわかりにくさから市町村・県連携タイプの利用が想定より少なかった。 ③R4年度より、補助制度の事業名を「ぐんまDX技術革新補助金」から「ぐんま技術革新チャレンジ補助金」へとより分かりやすく改めることで、制度利用者数の増加を図る。	4件	3件	3件	10件	進捗の遅れ (コロナ)	市の支援による新技術・新製品等の開発数	商工労働課
		創業相談件数	①創業促進サポート補助金について、飲食業5件・小売業4件ほか全20件について交付した。 ②中心市街地での創業実績が少ない。 ③令和4年度は新たに中心市街地での創業について補助上限額を50万円加算する制度を設けた。	10件	11件	20件	14件	順調に進捗	創業促進サポート補助金に関する相談を受けた件数	商工労働課
	②就労への総合的支援	いせさき合同会社説明会の参加者数	①コロナの影響により中止になった。関連事業としていせさき就職面接会(R3.10.7(木) プラザ・アリア 参加者24名、参加企業16社)を実施した。 ②コロナの影響により規模を縮小して開催を検討しており参加者の減少が懸念される。 ③商工会議所、ハローワーク伊勢崎と連携して、会場や日程の見直しを行い参加者数の確保に努めるとともに関連事業を合わせて推進していく。	144人 (平成30年度)	28人 ※関連事業参加者	24人 ※関連事業参加者	193人	進捗の遅れ (コロナ)	いせさき合同会社説明会の参加者数	商工労働課
		女性のためのおしごとフェアの参加者数	①コロナの影響により中止になった。関連事業としてジョブカフェ・マザーズ出張相談(オンライン相談R4.2.24(木)参加者2名)を実施した。 ②県の事業のため事業内容が変更される、又は実施されないことがある。 ③引き続き県との連携を図っていくとともに、ハローワーク伊勢崎及び群馬労働局主催の子育て中の方を対象とした就職面接会を共催で実施するなど、関連事業を推進していく。	41人	16人	2人 ※関連事業参加者	52人	進捗の遅れ (コロナ)	女性のためのおしごとフェアの参加者数	商工労働課
		障害者の一般企業への新規就労者数	①自立支援協議会及び就労支援協議会を通じて事業者間の連携を図り、障害者の就労意欲に応える体制づくりを推進した。 ②障害者の一般就労の機会の拡充。 ③①と併せて、障害者就業・生活支援センターとの連携を図る。	19人	16人	16人	25人	概ね順調に進捗	就労支援協議会から一般企業への新規就労者数の実績及び推計	障害福祉課
	③企業誘致の推進	製造業の事業所数	①首都圏等で開催された展示会等で、本市のPR活動を行い、企業誘致についても整備予定の産業団地について周知活動を行った。 ②製造業の事業所が進出する受け皿となる用地の整備を推進する必要がある。 ③新たな産業団地の整備を進めるとともに、民有地等への企業誘致に取組む。	187事業所 (平成29年)	182事業所 (令和元年)	令和4年9月 公表予定	189事業所 (令和4年)	概ね順調に進捗	従業者30人から299人までの工場、製作所、製造所、加工所と呼ばれる事業所の合計(工業統計調査)	企業誘致課
		製造業の従業者数	①市内企業の従業者数が増えるよう、企業の販路拡大を図り業務拡大につなげるため、展示会への出展補助及び共同出展事業を行った。また、事業所数の増加を図るため、全国規模の展示会において本市の企業進出に向けてのPR活動を行った。 ②市内製造業の技術力の高さや魅力等を、広く周知する必要がある。 ③マッチングイベント開催時に、市内企業への就職についても、PRを行う。	27,517人 (平成29年)	27,848人 (令和元年)	令和4年9月 公表予定	28,000人 (令和4年)	概ね順調に進捗	従業者4人以上の事業所で働く、個人事業主、無給家族従事者、常用労働者の合計(工業統計調査) ※雇用期間1カ月以内の臨時雇用者は含まない。	企業誘致課
	④農業の成長産業化	新規就農者数	①本市で就農を希望している方を対象に、就農相談会を実施した。 ②新規就農者等の農地の確保が困難である。 ③農業指導センターやJA佐波伊勢崎などの関係機関と連携しながら、引き続き新規就農者の支援を行う。	21人	48人	93人	70人	順調に進捗	新たに農業に就業した人数(累計)	農政課
		ほ場整備面積	①境小此木地区において、群馬県を事業主体とした境小此木東部土地改良事業を、令和2年度から令和7年度までの事業期間として実施しております。ほ場整備工事は進んでおりますが、農地利用の指定はしていないため、増減ありません。 ②ほ場を整備するにあたり、計画高に合わせるため、土砂の搬入を必要としているが、整備後の利用をほ場としているため、30cm以上の転石が混じらないことを条件としています。整備工事を効率的に施工するため、計画的な土砂搬入が課題となっています。 ③事業主体が群馬県であるため、土地改良区や地元の意見がきちんと反映される様、各委員会等に出席し連携を密にしていこう。	3,923ha	3,923ha	3,923ha	3,949ha	順調に進捗	土地改良事業などにより整備された農地(ほ場)の面積	農村整備課

第2期総合戦略数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧

資料4

基本目標	数値目標		重要業績評価指標 (KPI)名称	令和3年度 ①関連事業実施状況・②課題・③今後の方策等	基準値 (令和元年度)	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	目標値 (令和6年度)	進捗状況	解説・算出方法等	指標の担当課
	数値目標	具体的な施策									
1-2 ひとの流れの 創出	年間観光入込客数		-	①新型コロナウイルス感染症の影響により祭りやイベント等の中止が相次いだため令和2年度に引き続き入込客数については伸び悩んだ。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により祭りやイベント等の中止が相次いだため、ウイズコロナを見据えた開催を検討する必要がある。 ③コロナ感染対策を検討し、祭りやイベントについてウイズコロナを踏まえた開催方法を検討し、集客に努めていく。	331万人	109万人	163万人	390万人	進捗の遅れ (コロナ)	1年間に1万人以上、もしくは特定月に1,500人以上の来場者のあるイベントや観光名所への観光客の合計	文化観光課
	①地域資源、観光資源を生かした誘客	境地区の年間観光入込客数		①田島弥平旧宅などの境地区の観光名所やイベントへの観光客についてはコロナの影響により夏まつり等のイベントが中止になったため、令和2年度に引き続き伸び悩んだ。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により祭りやイベント等の中止が相次いだため、ウイズコロナを見据えた開催を検討する必要がある。 ③コロナ感染対策を検討し、祭りやイベントについてウイズコロナを踏まえた開催方法を検討し、集客に努めていく。	88,271人	10,895人	14,666人	89,500人	進捗の遅れ (コロナ)	田島弥平旧宅などの境地区の観光名所やイベントへの観光客の合計	文化観光課
		華蔵寺公園遊園地年間利用者数		①華蔵寺公園遊園地の利用者数を伸ばすためイベントを開催したり遊器具1機種無料開放などの集客に努めたが、コロナの影響により一部イベント等が中止になった。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が激減しているため、早期に集客拡大に努める必要がある。 ③魅力ある遊園地を目指し、遊器具のリニューアルや修繕等を行っていく。	169万人	63万人	110万人	198万人	進捗の遅れ (コロナ)	遊具の利用者数	文化観光課
	②関係人口の創出・拡大	伊勢崎シティマラソンの市外参加者数		①参加人数を600人、地域を群馬県内在住者に限定し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、開催した。 ②新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれない中、目標値の人数で開催するための感染症対策の検討が必要となる。 ③コロナ前のように2,000人規模で開催し、県外からの参加者を誘致することは困難ではあるが、市外でのポスター、要項等の配布先や掲載場所を増やすほかランニングポータルサイトや市ホームページの広報の強化を図るなど、今まで以上に周知を行う。参加者が安心安全に参加できるように、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。	1,059人	0人	348人	1,160人	進捗の遅れ (コロナ)	伊勢崎シティマラソンに市外から参加した人数	スポーツ振興課
		ふるさと納税寄付件数		①謝礼品取扱事業者の新規開拓やポータルサイトの追加により寄附件数及び寄附額の増加を図った。 ②関係人口や交流人口の増加につながるような制度の活用方を研究する必要がある。 ③多様な謝礼品取扱事業者の参入を促進するとともに、クラウドファンディング型等の導入についても検討する。	448件	2,164件	14,846件	1,000件	順調に進捗	ふるさと寄附金の件数	企画調整課
	③地方居住の推進	移住相談会等の参加者数		①相談会の実施形態が対面からオンラインに変更(R2年度～) ②対面相談会の未開催・不参加により不特定多数の参加者への相談実施が困難な状況にある。 ③HP等利用による本市の魅力を発信しながら、転出入アンケートの継続及び増加傾向にある窓口相談に対し適切な情報提供に努める。	223人	228人	232人	255人	概ね順調に進捗	各種移住相談会などへ出展した際の参加者数 ※令和3年度から令和6年度の間	企画調整課

第2期総合戦略数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧

資料4

基本目標	数値目標		重要業績評価指標 (KPI)名称	令和3年度 ①関連事業実施状況・②課題・③今後の方策等	基準値 (令和元年度)	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	目標値 (令和6年度)	進捗状況	解説・算出方法等	指標の担当課
	具体的な施策										
2-1 結婚・出産・ 子育ての 希望の実現	合計特殊出生率		-	①総合戦略に基づき、結婚・出産・子育ての希望の実現に係る各事業を担当課により実施した。 ②本市の合計特殊出生率は平成18年ごろから増加傾向であったが、減少傾向に転じてしまっている。 ③総合戦略に基づく結婚・出産・子育ての希望の実現に係る各事業について、創生会議を通して適切に進行管理・評価を行い、各事業の総合的な基本目標である合計特殊出生率の増加を図る。	1.41 (平成30年)	1.42 (令和元年)	1.36 (令和2年)	1.66 (令和5年)	進捗の遅れ	群馬県人口動態調査による合計特殊出生率	企画調整課
	①母子保健サービスの 充実	出生数		①総合戦略に基づき、母子保健サービスの充実に係る事業を担当課により実施した。 ②出生数はしばらく横ばいであったが、平成20年ごろから減少傾向が続いている。 ③総合戦略に基づく母子保健サービスの充実に係る各事業について、創生会議を通して適切に進行管理・評価を行うことで、子育てのしやすい環境整備を促進し、出生数の増加を図る。	1,702人 (令和元年)	1,638人 (令和2年)	1,553人 (令和3年)	1,778人 (令和6年)	進捗の遅れ	群馬県移動人口調査による出生者数	企画調整課
		妊婦健康診査受診率		①妊娠届出時の保健指導で受診を勧め丁寧な説明を行った。 ②健診未受診妊婦0人とならない状況である。関係機関との連携が必要 ③妊婦への丁寧な説明、保健指導。関係機関との十分な連携。	80.5%	83.3%	82.9%	82.0%	順調に進捗	妊婦健康診査の延べ受診数/妊婦健康診査受診票延べ発行数	健康づくり課
		子育て世代包括支援センター相談件数		①妊娠届出時の保健指導、子育て相談に加え、新たに妊産婦相談を実施した。 ②新型コロナウイルス感染症の影響で、子育て相談は予約制で実施しており、利用者数が減っている。 ③室内換気、対応職員のコマメな手洗いや手指消毒、使用物品の消毒などの感染対策をより強化し、子育て世代がより安心して相談に来所できる環境を整えることで、相談件数の増加を図る。	-	1,997件	1,933件	2,865件	進捗の遅れ (コロナ)	子育て世代包括支援センター(R2.4月開設)への来所相談数 (来所育児相談および母子健康手帳交付時の相談)	健康づくり課
		伊勢崎市で今後も子育てしたいと思う割合		①4か月児健康診査での保護者への質問票により調査を実施。 ②子育て支援の推進のために関係機関との連携が必要。 ③様々な保健事業を通じて子育てを支援していく。	72.5%	69.4%	67.9%	81.6%	概ね順調に進捗	4か月児健康診査時に実施する健やか親子質問票	健康づくり課
	②子育て支援の充実	保育施設待機児童数		①多様化する保育ニーズに応じるため、民間教育・保育施設への施設整備等に対する補助を行った。 ②保育ニーズの低年齢化に対応するための児童受け入れ枠の拡大や調整を図る必要がある。 ③引き続き待機児童なしを継続できるよう施設整備等を実施する。	待機児童なし	待機児童なし	待機児童なし	待機児童なし	順調に進捗	国が示す保育所等利用待機児童の定義に該当する児童数	こども保育課
		放課後児童クラブ数		①昼間、保護者が家庭にいない小学校に就学している児童に対して、放課後に健全育成を図る事業を実施した。 ②クラブ数は目標達成となった。今後は少子化に伴い学校区内の利用者数の把握が必要。 ③就学前に利用を希望する人数の把握を行い、クラブ数の調整を図る。	78カ所	91カ所	95カ所	90カ所	順調に進捗	小学生が授業終了後に帰宅しても、保護者が仕事などでいない場合に児童を預かる放課後児童クラブの数	子育て支援課
		放課後子供教室数		①新型コロナウイルス感染症の蔓延により、予定した計画が中止となり、当初計画していた事業の半分程度の実施となった。 ②地域コーディネーター、協働活動支援員の確保 ③R6年度までに、全小学校区の50%以上(12/23校)の学校12カ所で、放課後子供教室を実施することを目標。うち5カ所以上を一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室として実施	7	8	9	全中学校区において1校以上の小学校で実施	順調に進捗	各小学校区で地域の方の指導のもと、児童が放課後に多様な体験・活動を行う教室の数	生涯学習課
		ファミリーサポートセンター会員登録数		①広報紙掲載や各種団体に会員登録依頼を実施した。 ②R3から市直営事業となり、国の指示で会員整理事務を実施すると退会者が多数発生、登録者が一時的に大幅減少した。 ③新しく7月に伊勢崎市PTA連絡会会議で事業説明とリーフレットを配布し、会員登録を依頼する。	828人	862人	684人	890人	進捗の遅れ	ファミリーサポートセンターに登録している会員数	こども保育課

基本目標	数値目標		重要業績評価指標 (KPI) 名称	令和3年度 ①関連事業実施状況・②課題・③今後の方策等	基準値 (令和元年度)	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	目標値 (令和6年度)	進捗状況	解説・算出方法等	指標の担当課
	具体的な施策										
2-2 地域を担う 人材の育成	将来の夢や希望の実現に向け努力している児童・生徒の割合		-	<p>①「ふるさと伊勢崎の伝統・文化・歴史に立脚したグローバルな広い視野と高い志を持ち、よりよい未来を創り出す子供」を本市の学校教育において育成すべき子供像として掲げ、共通の方向性や施策を伊勢崎市教育構想に示した。本構想の柱を市民性育成プラン、21世紀型学力向上プラン、地域と世界をつなぐ人材育成プランの3つとし、すべての公立幼稚園、小学校、中学校において各学校園が、本構想に基づいて教育活動の充実を図った。</p> <p>②コロナ禍において、教育活動や行事の中止・変更により、児童・生徒が日々の取組に対して成果を捉えにくくなっている。ふるさと伊勢崎の伝統・文化・歴史に立脚したグローバルな広い視野と高い志をもち、よりよい未来を創り出す子供を地域とともに育てる教育を推進していく上で、市民性育成、学力向上、人材育成を柱として教育の質を高めたカリキュラム・マネジメントの実現のニーズも高い。継続的に取り組み、更なる充実ができるようにしたい。</p> <p>③先の見えない社会、コロナ対応の収束への不安を意図的・計画的な指導の充実により払拭できるよう、努めていきたい。子供の未来を地域とともに育てる教育を推進し、各幼稚園・学校におけるカリキュラム・マネジメントの実現により、ふるさと伊勢崎の伝統・文化・歴史に立脚したグローバルな広い視野と高い志をもち、よりよい未来を創り出す子供の育成を目指している。今後も継続的に取り組むことにより、更なる充実を目指していきたい。</p>	75.3%	75.0%	74.8%	85.0%	概ね順調に進捗	生活・学習状況調査で「努力している」「どちらかというとなら努力している」と回答した割合の小学校1年生から中学校3年生までの平均	学校教育課
	①地域に根ざした特色ある教育の推進		自分の住んでいる地域を誇りに思っている児童・生徒の割合	<p>①「ふるさと伊勢崎の伝統・文化・歴史に立脚したグローバルな広い視野と高い志を持ち、よりよい未来を創り出す子供」を本市の学校教育において育成すべき子供像として掲げ、共通の方向性や施策を伊勢崎市教育構想に示した。本構想の柱を市民性育成プラン、21世紀型学力向上プラン、地域と世界をつなぐ人材育成プランの3つとし、すべての公立幼稚園、小学校、中学校において各学校園が、本構想に基づいて教育活動の充実を図った。</p> <p>②コロナ禍において、教育活動や行事の中止・変更により、児童・生徒が日々の取組に対して成果を捉えにくくなっている。ふるさと伊勢崎の伝統・文化・歴史に立脚したグローバルな広い視野と高い志をもち、よりよい未来を創り出す子供を地域とともに育てる教育を推進していく上で、市民性育成、学力向上、人材育成を柱として教育の質を高めたカリキュラム・マネジメントの実現のニーズも高い。継続的に取り組み、更なる充実ができるようにしたい。</p> <p>③先の見えない社会、コロナ対応の収束への不安を意図的・計画的な指導の充実により払拭できるよう、努めていきたい。子供の未来を地域とともに育てる教育を推進し、各幼稚園・学校におけるカリキュラム・マネジメントの実現により、更なる充実を目指していきたい。</p>	85.2%	86.5%	89.9%	88.0%	概ね順調に進捗	生活・学習状況調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合の小学校1年生から中学校3年生までの平均	学校教育課
			高等教育機関との連携による公開講座参加者数	<p>①新型コロナウイルス感染症の蔓延により、市内大学での公開講座等が実施できなかった。</p> <p>②コロナ禍での実施について検討する必要がある。</p> <p>③感染症防止対策等の知見を踏まえ、事業が継続して実施できるようにする。</p>	248人	0人	0人	400人	進捗の遅れ (コロナ)	上武大学・東京福祉大学との連携による公開講座参加者数	生涯学習課
	②グローバル教育の推進		英語の学習が楽しいと感じている児童・生徒の割合	<p>①小学校「英語科」と中学校「英語科」の9年間の連続性を重視した本市の小中一貫英語力向上プログラムを推進し、グローバル社会に対応する英語コミュニケーション能力の育成に取り組んだ。</p> <p>②今後のグローバル社会を生きていく児童生徒には必要不可欠な教育事業として市民の関心は高い。平成25年度より市内全小学校が文部科学省より教育課程特例校として認定されている。本事業は、類似事業が無く、休止や廃止は教育活動の質の低下に直結する。</p> <p>③小学校では、イングリッシュサポーターを活用し、全学年で週2時間相当の英語の授業を実施している。また、中学校では4技能を統合した言語活動に重点を置いている。今後も本市独自の小中一貫した英語力向上プログラムの実践により、グローバル社会で活躍できる市民を育成していく必要がある。また、生徒の英語力を明確に把握・評価し、きめ細かな指導改善を図り、生徒の学習意欲向上へとつなげていくために、校内テストだけでなく積極的に外部試験(NRT,GTEC)を活用し、検定料の一部を助成します。</p>	小学校88.7% 中学校82.8%	小学校85.4% 中学校83.5%	小学校84.2% 中学校73.4%	小学校95.0% 中学校85.0%	概ね順調に進捗	英語アンケートで「楽しい」と回答した児童と生徒の割合	学校教育課

第2期総合戦略数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧

資料4

基本目標	数値目標		重要業績評価指標 (KPI) 名称	令和3年度 ①関連事業実施状況・②課題・③今後の方策等	基準値 (令和元年度)	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	目標値 (令和6年度)	進捗状況	解説・算出方法等	指標の担当課
	具体的な施策										
3-1 時代に合った 地域づくり	伊勢崎市が住みよいと感じている市民の割合		-	①市民意識調査において、市の住みよさや、総合計画の各施策の満足度・重要度等について調査を行った。 ②住みよさを高めるため、重点改善施策(満足度が低く重要度が高い施策)について、早期に改善を図る必要がある。 ③市民意識調査の結果を予算配分や事業計画に反映できる仕組みを検討・実行し、重点改善施策の早期改善を実現する。	73.6%	73.6% (令和元年度)	74.1%	76.0%	順調に進捗	市民意識調査で「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答した割合	企画調整課
	①地域医療体制の充実	健康寿命		①はつらつウオーキング教室、筋力アップ教室、健康情報の発信、健康推進員及び食生活改善推進員による啓発活動等、健康づくり事業の実施 ②新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施の中止をしざる負えない状況である。 ③市民一人ひとりが自分に合った健康づくり自分のペースで行えるよう、個別、また小集団の教室の開催をするなどして取組方法を変更していく。	男性77.41歳 女性79.89歳	男性77.51歳 女性80.04歳	令和4年10月 公表予定	男性78.97歳 女性80.98歳	概ね順調に進捗	健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間	健康づくり課
		休日夜間急患センターの開設日数		①休日・夜間救急センター運営費補助金を交付している。 ②小児の休日夜間救急医療を担う小児科医の確保 ③医師会病院との更なる連携を図り、事業を継続する。	366日 (閏年)	365日	365日	365日	概ね順調に進捗	1年間に一次救急患者を受け入れる休日夜間急患センターの開設日数であり、年間を通しての救急医療体制の維持を目標としたもの	健康づくり課
		特定健康診査実施率		①4月から7月に、集団健診を各地区で実施するとともに各保健センターで夜間健診を実施。5月から11月で医療機関にて個別に健診を実施。 ②受診率の向上。 ③保険証一斉更新時に案内を同封するほか、主に健診不定期受診者に対し個人の特性に対応した通知を送付するなどの受診勧奨を行うことで受診率の向上を図る。	42.5% (平成30年度)	42.8% (令和元年度)	34.4% (令和2年度)	60.0%	進捗の遅れ	国民健康保険に加入している40歳から74歳までの人のうち、保険者である市が実施するメタボ対策の健康診断を受けた人の割合	国民健康保険課
	②住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができる体制の整備	ミニデイサービス事業の実施率		①令和2年度と同様に90行政区と契約 ②新型コロナウイルス感染症のため、高齢者が集う事業が実施しにくくなっており、新たに契約する行政区の増加が見込みにくい。 ③区長会に対し、ミニデイサービス事業内容の説明を行うことにより新規契約行政区の増加を図る	52.9%	52.9%	52.9%	67.6%	進捗の遅れ (コロナ)	170の行政区のうち、ミニデイサービス事業を実施している行政区の割合	高齢政策課
		認知症サポーター数		①認知症サポーター養成講座を14回開催し、認知症サポーターの養成を行った。 ②コロナ禍にて、認知症サポーター養成講座をWEB開催する方向を検討したが、受講者側の通信環境が整っていない等、対面以外での実施に困難さを感じた。 ③認知症の人や家族が地域で安心して暮らし続けるために、認知症サポーターの養成に努める。	11,762人	11,976人	12,273人	14,200人	概ね順調に進捗	認知症サポーター養成講座を受講した人数	地域包括支援センター
	③魅力ある居住環境の整備	土地区画整理事業完了地区の割合		①茂呂第二土地区画整理事業が令和2年度に換地処分し、令和3年度に事業が完了した。 ②西部土地区画整理事業の換地処分に向けて、換地計画を進め、地権者及び関係各所と連携を図る。 ③令和6年度に西部土地区画整理事業の換地処分を予定しており、その後清算・登記事務に移行し、事業の早期完了を目指す。	82.0%	82.0%	86.0%	91.2%	進捗の遅れ	土地区画整理事業施行地区のうち、事業が完了した地区の割合	区画整理課
		中心市街地整備事業の進捗率		①駅周辺第一土地区画整理事業、駅周辺第二土地区画整理事業、密集住宅市街地整備促進事業を実施した。 ②補助対象事業をはじめ、区域内すべての事業進捗を図る。補償交渉困難箇所については引き続き粘り強く交渉を続ける。 ③事業進捗を図るため国庫補助及び市単独費などの財源確保を行うとともに、新たに導入できる財源を検討する。	53.0%	60.1%	62.9%	75.5%	概ね順調に進捗	伊勢崎駅周辺の土地区画整理事業、密集住宅市街地整備促進事業の進捗率	市街地整備課 都市開発課
		伊勢崎駅周辺の中心市街地における歩行者等通行量		①現在整備を進めてい駅周辺第一土地区画整理事業区域内2地点の自転車・歩行者の通行量の調査を行った。 ②郊外部の都市化と中心市街地の活力低下が進んでおり、中心市街地の再生や活性化が急務となっている。 ③伊勢崎駅周辺総合開発事業により、中心市街地の魅力向上に取り組んでおり、事業の早期完成を実現する。	1,078人	1,028人	879人	1,290人	概ね順調に進捗	伊勢崎駅周辺整備事業において整備された道路等2地点における午前7時から午後7時までの歩行者、自転車通行量の平均値(平成29年度から実施)	市街地整備課 都市開発課
	④交通体系の確立	コミュニティバス利用者数		①平成20年から運行しているあおぞらバスを3台入れ替え、市役所と市民病院に設置してある老朽化したデジタルサイネージを更新した。 ②コロナの影響で減少した利用者数を、回復させる必要がある。 ③令和3年2月の路線再編等による利用状況を確認するため、令和4年度中に利用者アンケートを実施予定。	294,758人	201,047人	221,513人	35万人	進捗の遅れ (コロナ)	コミュニティバスあおぞらを利用した人数	交通政策課
		鉄道利用者数		①両毛線及び東武鉄道整備促進期成同盟会からのパンフレットやポケットティッシュで、啓発活動を実施した。 ②コロナの影響で減少した利用者数を、回復させる必要がある。 ③引き続き、高崎市から小山市までの両毛線沿線の市町からなる両毛線整備促進期成同盟会と桐生市や伊勢崎市から足利市までの東武線沿線の市町からなる東武鉄道整備促進期成同盟会を通じて他市町と連携し、卒業を控えた中学3年生向けに、鉄道利用促進や鉄道会社がコロナ対策に取り組む様子を載せたパンフレットを配布するなどの啓発活動を実施することで、鉄道利用者の増加を図る。	490.7万人 (平成30年度)	488.1万人 (令和元年度)	357.1万人 (令和2年度)	492.5万人 (令和5年度)	進捗の遅れ (コロナ)	JR両毛線の伊勢崎駅、国定駅と東武鉄道伊勢崎線の伊勢崎駅、新伊勢崎駅、剛志駅、境町駅での乗車した人数の合計	交通政策課

基本目標	数値目標		重要業績評価指標 (KPI) 名称	令和3年度 ①関連事業実施状況・②課題・③今後の方策等	基準値 (令和元年度)	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	目標値 (令和6年度)	進捗状況	解説・算出方法等	指標の担当課
	具体的な施策										
3-2 安心安全な 暮らしの実現	刑法犯認知件数		-	①新型コロナウイルス感染症の影響により、青色防犯パトロール車によるパトロール活動の制限、市民防犯の日啓発事業及び防犯診断の中止 ②なし ③なし	1,634件 (令和元年)	1,255件 (令和2年)	1,217件 (令和3年)	1,400件 (令和6年)	順調に進捗	市内で発生した刑法犯の件数	安心安全課
	①安心できるまちづくり	災害時協力協定締結数		①なし ②なし ③なし	65件	71件	78件	72件	順調に進捗	他の自治体や民間企業との災害時協力協定を締結した数	安心安全課
		防犯灯設置数		①なし ②ESCO事業について、契約が令和5年度までとなっており、事業継続について検討が必要 ③市で管理している水銀灯について、地元区長と協議し、LED防犯灯への入替や撤去等を行う	15,665基	16,076基	16,465基	17,900基	概ね順調に進捗	市内の防犯灯設置数	安心安全課
		交通事故発生件数		①四季の交通安全運動や交通安全日に合わせ、啓発活動を実施した。 ②コロナ禍で地域における交通安全教室等が無く、交通安全啓発の機会も少なくなっているため、状況に合わせた啓発の機会を拡充していく必要がある。 ③啓発品や啓発場所に工夫を凝らすことで、交通安全に意識を持ってもらえるよう、啓発を行う。	1,465件 (令和元年)	1,180件 (令和2年)	1,193件 (令和3年)	1,160件 (令和6年)	概ね順調に進捗	市内で発生した交通人身事故の件数	交通政策課
		いせさき情報メール登録数		①なし ②利用促進を図るものの登録件数の急増は難しい。また、防災情報に限らず、市政全般に関する情報の発信が多くなっており運用面での見直しが必要とされる。 ③発信する情報をSNSやホームページなどと自動連携するシステムへのバージョンアップ。	14,308件	16,226件	17,129件	18,000件	概ね順調に進捗	市から配信される防災や防犯に関する情報を受信するサービスに登録された数	安心安全課
		②空き家対策の推進	危険空き家除却件数		①空き家除却補助事業を実施した。 ②自発的な除却を促進するため、所有者に対し、補助事業及び適切な管理の推進等について、積極的な周知が必要である。 ③所有者等に対して、空き家除却補助事業を周知するためのハガキ等の郵送を実施することで、空き家の早期除却を促進する。	30件 (H30年度)	65件	76件	130件 (令和5年度)	進捗の遅れ	危険空き家(不良住宅に該当する空き家)の除却が確認された件数

進捗状況	数値目標・KPIの数
順調に進捗	11件(23.4%)
概ね順調に進捗	18件(38.3%)
進捗の遅れ(コロナ)	12件(25.5%)
進捗の遅れ	6件(12.8%)
合計	47件(100%)

